

第178号

令和7年8月発行

編集・発行

社会福祉法人

松野町社会福祉協議会

〒798-2101

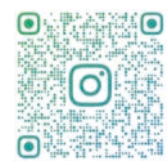
北宇和郡松野町大字松丸1661-13

TEL (0895) 42-0794

FAX (0895) 20-5311

Instagram

Follow-Me/



@MATSUNO_SYAKYO

まつの社協だより

新役員のご紹介

6月に開催されました、理事会・評議員会において、任期満了による役員改選が行われ、新しい役員が決まりました。

会長 就任あいさつ

地域福祉の推進と充実に向けて、誠意努めてまいります。近年、物価の上昇や自然災害への備えといった生活の不安が高まるなかで、地域の中で助け合い、支え合うことの大切さがあらためて見直されています。また、コロナ禍を経て、孤独や孤立といった課題もより一層、顕在化しています。このような時代だからこそ、地域の中で「ちよつと気にかける」「ひと声かける」ような関係性を育むことが、誰もが安心して暮らせる地域づくりにつながると考えております。本会といたしましては、住民の皆様にとって身近で頼りになる存在となるよう、役職員一同、力を尽くしてまいります。今後とも、本会の諸活動に対しまして、あたたかいご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。就任のご挨拶とさせていただきます。



この度、六月二十四日の理事会におきまして、会長に選任されました中森でございませう。副会長ともども、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

理事・監事・評議員の紹介

芝吉彦 山崎ルリ子 渡辺順一 山下武久 小西敏文 稲澤幸男 千葉千鶴子 森田勝之 嶋原雄三 松田莊一 山口賢三 金谷幸一 豊永純一 金谷恒夫 長谷信昭 森英雄 村田和宏 山木幸三 中脇優 岡村勝 酒井博司 山石恭助	【評議員】 橋田忠弘 岡村俊男	【監事】 2名 （学識経験者） （学識経験者）	【理事】 9名（順不同 敬称略） 中森京司 副会長 曾根藤光	（民生・児童委員協議会代表） （区長会代表） （福祉ボランティアグループ代表） （宇和島福祉協議会） （身障者福祉協議会） （教育委員の代表） （福祉行政機関の代表）	（議事代表） （松丸区長） （延野区長） （豊岡後区長） （豊岡前区長） （上家地区長） （目黒区長） （吉野区長） （藤生区長） （奥野川区長） （主任児童委員） （隣保館の代表） （保護司の代表） （古城園） （老人クラブ連合会） （母子寡婦福祉協議会） （遺族会） （公民館の代表） （松野町商工会） （えひめ南農協松野支所） （行政相談委員） （福祉行政機関の代表）	22名 2名
--	--------------------------------	--	---	--	--	-------------------



熱中症に気をつけましょう

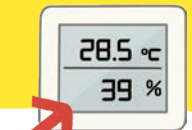
暑さが本格的になり、屋内外で熱中症が発生しています。特に高齢の方は若い世代よりも体内の水分量が少なく、暑さやのどの渇きに気づきにくい傾向があります。こまめな水分補給に加えて、エアコンを上手に使って、熱中症をしっかりと予防しましょう。

ただ、夏は台風などの影響で停電が起こることもあり、エアコンが使えなくなる場合があります。そこで今回は、「**停電時の熱中症対策**」をご紹介します。



停電時の熱中症対策

- 温度や湿度、暑さ指数の数値をこまめにチェック。
- 喉が渇いていなくてもこまめに水分補給する。
- 部屋の対角線上の窓やドアを開けて風を通す。
- 通気性や速乾性に優れた服を着る。
- ぬれたタオルやネッククーラーなどを首に巻き、うちわであおいで体を冷やす。



もしもの災害や停電時の事前の備え

- 保冷剤や凍らせたペットボトルを冷凍庫にストックする。
- 窓にシェードやすだれ、遮光カーテンなどを取り付ける。
- 簡易トイレや非常食・飲み物を多めに備蓄する。
- ポータブル電源や懐中電灯を用意。



もしもの備えが、**命を守る力になります。**
今できることから始めましょう！



※詳しくは、厚生労働省HPをご覧ください。

共同募金配分金事業

○令和6年度の募金実績

一般募金 643,448 円 歳末たすけあい 272,729 円

○皆様からの温かい募金を財源に、下記のとおり活用させて頂きました。事業費 573,346 円

- ・防災・減災イベント、地域食堂への助成 178,746 円
- ・住民活動の活性化と健康づくりへの支援、中学卒業記念品、小学校入学記念、福祉ボランティアグループ、サロン活動における助成。317,600 円
- ・歳末たすけあい運動として、福祉施設入居者 20 名へ、義援金を贈った。

まごころ銀行運営事業

○町民の方の善意の寄付金を受付管理し、その健全な管理運営を行うとともに、地域福祉活動や介護保険事業などへの活用を図った。

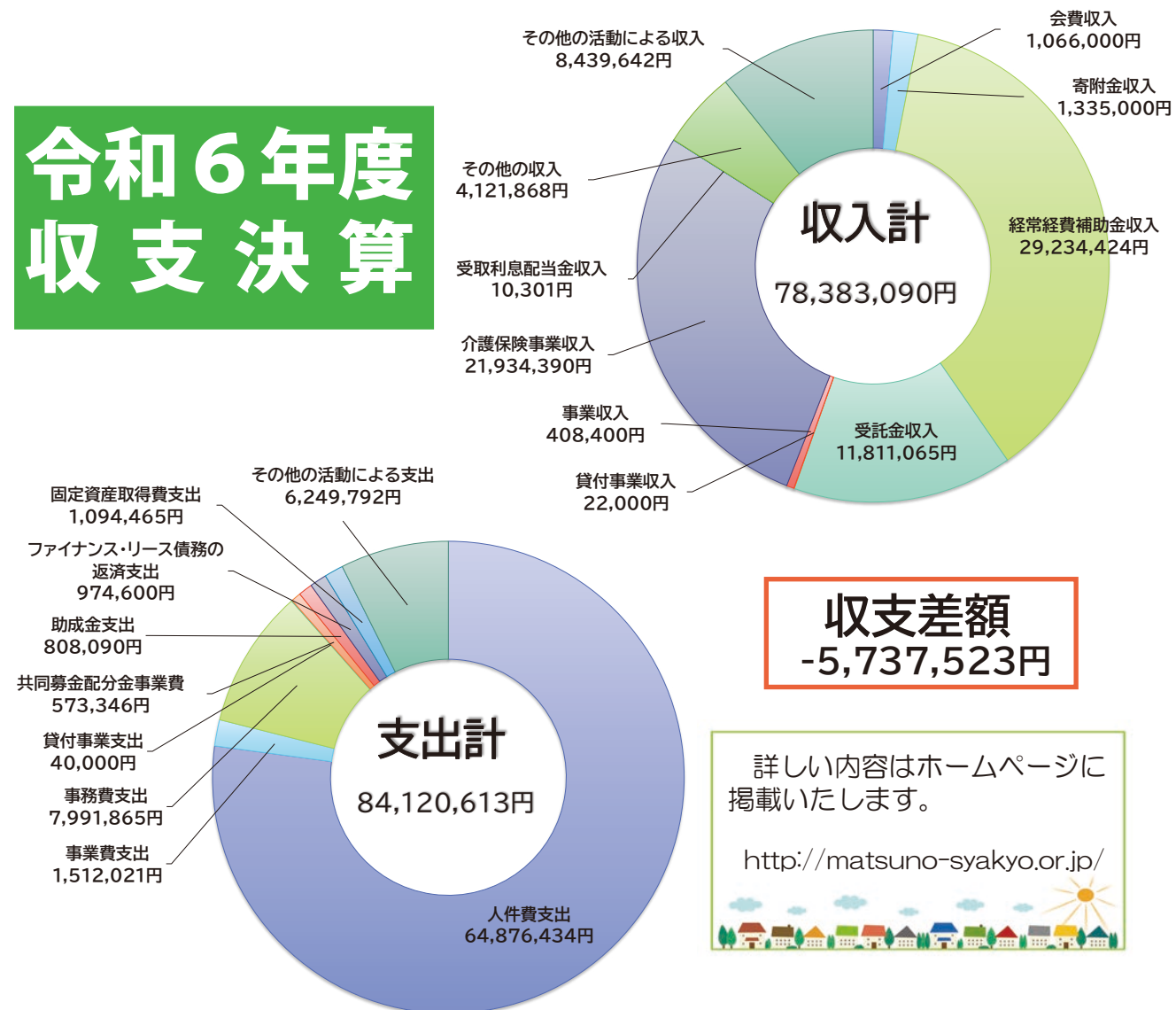
・活用状況

・令和6年度の寄付受付状況

使途目的	件数	金額（円）	割合
地域福祉事業へ	10	300,000	22%
介護保険事業へ	10	245,000	18%
法人へー任	31	790,000	59%
その他	0	0	0%
合計	51	1,335,000	100%

活用内容	対象	金額（円）
まごころ銀行助成金（公募事業）	チーム豊岡フラワーロード	200,000
	吉野生スポーツ少年団	123,000
地区福祉活動助成金	地区福祉活動助成金	300,000
結婚・出産祝い金	結婚・出産祝い金	94,290
本会の事業で活用	家計改善支援事業	300,000
	居宅介護支援事業	300,000
活用合計		1,317,290

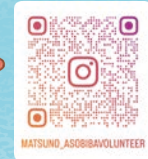
令和6年度 収支決算



遊び場ボランティアの活動は、地域の人々が自由に安心して過ごせる場づくりと、遊びを通じた多世代の交流を目的にしています。

今回は軽トラ市に合わせて開催し、巨大ジェンガやピンポン的当てゲームをし、わくわくドキドキの歓声で盛り上がりしました。

遊び場
Instagram
見てね！



ボランティア活動紹介



折り紙ボランティアの活動は、折り紙を通して交流しながら、楽しみづくりや仲間づくりを目的に、保育園やサロンなどで折り紙教室を開催したり、学校等へ季節の折り紙作品を届けています。

今年度から、学校を訪問し、子ども達との交流活動にも取り組んでいます。

第1回目は、西小学校で楽しくゲームをしました。

赤十字 手つなぎボランティア

松野西小学校、東小学校の
青少年赤十字児童の皆さん
と、松野町赤十字奉仕団の
皆さんが協力して、清掃活動
を行いました。



西小の活動

掃除やゲームを
一緒にしながら、
お互いのことを知る
ことができました。



東小の活動

「気づき、考え、実行する」を
モットーに、みんなで協力して、
通学路をピカピカにしました！

令和6年度 事業報告

令和6年度の事業報告ならびに収支決算について、主な内容を報告します。

法人運営事業

- 会議・各種大会の開催 理事会・評議員会 福祉のつどい 敬老式 戦没者追悼式
- 社協会員募集結果 総件数 1,034 件 会費金額 1,066,000 円
- 松野町老人クラブ連合会・身体障害者福祉協議会・遺族会の事務局として支援
- 日赤奉仕団の支援(会議・ボランティア等の支援) 母子寡婦福祉協議会(事業費支援)
- 日本赤十字社募金 活動資金協力実績 543,321 円

地域福祉推進事業

- 第2期地域福祉活動計画の推進
現在取り組んでいる地域活動や地域のつながりを再認識し、日頃の活動と災害時の備えとのつながりについて考え、今後の活動をさらに広げていくために協議をした。
- ボランティア活動の推進・支援
松野町福祉ボランティアグループや日赤奉仕団と協働して、「防災・減災イベント」の開催、通学路の清掃、子育て世帯への支援、広報誌の音訳、読み聞かせ等のボランティア活動を支援した。
- 福祉教育の取り組み
ふだんの暮らしをしあわせにするという視点で福祉を身近に感じ、みんなが必要なことや出来る事を考えるきっかけづくりとして、学校等と協働し取り組んだ。
- 生活支援体制整備事業
住民の健康づくり、地域の見守りネットワークづくりのため、理学療法士、地域おこし協力隊と連携し作った「未来貯筋体操」の動画を作り、サロンや老人クラブ等の集まりで周知した。
- 生活困窮者自立支援・家計改善支援事業
県からの受託により「くらしの相談支援室」を開設。多様で複合的な課題の解決に向け、総合的な相談を受け付けるとともに、家計相談支援事業も実施した。 年間相談件数 255 件
- ふれあい・いきいきサロンの支援(町内 12 グループ)
地域で孤立する人をなくすため、高齢者や障害者、子育て中の親子などが、気軽に集い、地域の人々とのふれあいの場として、また情報交換の拠点として、楽しく参加しやすい活動を地域住民が運営できるよう支援し、心身の健康を保ち、生きがいづくりを推進した。
- 生きがい活動支援通所事業の実施
在宅で生活する 65 歳以上の高齢者を対象に、班ごとに月 1 回程度の寄り合いを持ち、要介護状態への予防を図れるよう、自立的生活と生きがいや社会参加を促進できるよう、健康講座や趣味の創作活動を支援した。
- 心配ごと相談事業 実施回数 年間 12 回(内、弁護士相談 3 回/年) 年間相談件数 8 件
- 福祉サービス利用援助事業・法人成年後見人
判断能力に不安、または不十分な方であっても福祉サービスの利用が適切に利用できるよう援助し、成年後見制度利用促進事業により、宇和島地域(1 市 3 町)による権利擁護センター・自治体・社協と連携し支援を行った。
- 生活福祉資金貸付事業(県社協受託) 年間相談件数 41 回件
- 小口資金貸付事業 貸付実績 3 件 304,000 円(令和 6 年度末貸付総額)
- 訪問型サービス事業
町内に在住する要支援者 1,2 の方を対象として、利用者が要介護状態となる事の予防、要介護状態の軽減または悪化を防止し、住み慣れた自宅で自立した日常生活を営むために、掃除や調理、ゴミ出しなどの軽微な家事援助など、松野町事業実施要綱に基づき、生活援助に限定したサービスを実施した。

在宅福祉サービスの推進事業 ～介護保険事業～

- 居宅介護支援事業
ケアプランの作成や相談支援活動を行い、24時間連絡相談体制を整備のもと、利用者が健全で安らかな在宅生活が送れるよう、また、家族の介護負担の軽減を図れるよう努めた。
また、対象世帯の抱える課題を解決するため、地域、施設等をつなぐパイプ役として、地域包括支援センター、医師、民生委員、本会の地域福祉部門等との連携により、地域福祉の向上に努めた。